



JTB Singapore

オンライン留学

1日目：2022年1月10日（月）
2日目：2022年1月22日（土）
3日目：2022年1月29日（土）
4日目：2022年2月11日（金）

シンガポールを通してSDGs5番「ジェンダー平等を実現しよう」について考えてみよう
～2030年までによりよい社会を実現するために自分が取るべき行動とは？～

1日目	<p>シンガポール オンラインホームビジットプログラム（入門編の実施） ホスト役のシンガポール人がバイリンガル司会で進めます。 「シンガポールとは？」という導入部分からはじまり地元の人の生活に触れ、日本と比較できるプログラムになっております。 多様性、ジェンダー、多民族の共存、国の政策に触れるプログラムです。 >セッション終了後、次回までの英語スピーチお題について宿題をだしますので各自で考えてきていただきます</p>	<p><90分></p> <p>2022年1月10日（月） 日本時間午前10:00開始</p>
2日目	<p>①SDGs X シンガポールの食の魅力～日本人トップガイドによるミニレクチャー～ 30分程度のレクチャーとなります。テーマを食に絞り解説致します。 ②シンガポールの現地の大学生との交流 英語スピーチ（3分程度）で日本の学生より自己紹介も合わせて発表+現地学生とのディスカッション</p>	<p><90分></p> <p>2022年1月22日（土） 日本時間午前10:00開始</p>
3日目	<p>シンガポール人現地学生に向けてプレゼン発表会+講評 プレゼン資料は全て各自でご用意ください。是非英語でのプレゼンに挑戦してみましょう。1&2日目にインプットしたことを自分ごとに落とし込み、外国人学生に向けて発表する機会です。</p>	<p><90分></p> <p>2022年1月29日（土） 日本時間午前10:00開始</p>
4日目	<p>最後は「社会人に向けての」アウトプット～シンガポールに進出する日系会社JTBの日本人マネージャーに向けて日本語でプレゼンしていただきます。多民族が共存する国で様々な人種のスタッフを束ねて仕事をする社会人よりコメントを貰い、2030年までの自分自身のゴールと向き合ひましょう、</p>	<p><90分></p> <p>2022年2月11日（金） 日本時間午前10:00開始</p>



オンラインでつなぐホームビジット体験

Singapore Online Home Visit Program

多国籍国家シンガポールの人達とオンラインで交流してみよう

リアル旅行の再開の目途が立っていない中、日本の学生向けに、シンガポール人の家庭へ遊びにいけるような感覚で楽しめる“オンライン ホーム ビジット プログラム”をご用意しております。「入門編」「基礎編」「応用編」の3段階に分けたプログラムは、地元の人々の住宅事情や多民族社会の背景、SDGs学習に沿って社会課題を学生たちが当事者意識を持って取り組めるような企画になっております。旅マエのコンテンツとしても、コロナ禍で失われた海外研修の代案としてもご利用いただける、シンガポールの魅力が詰まったプログラムです。

- 受入人数: プラットフォームによる
- 受入時間: 月-金曜日 10:00~18:00 (日本時間)
* 週末&シンガポール祝日 & 各文化のお正月シーズンは除外
- 所要時間: 60-90分程度
- 利用プラットフォーム: Zoom等
- 対象: 中学生以上
- 司会進行: JTBシンガポール支店の社員がファシリテーターを担当
- 交流言語: バイリンガル司会(英語と日本語を交えて)でプログラムを受講いただきます

プログラムのイメージ動画をチェック♪ ⇒ <https://youtu.be/EgO9ClePOoc>

※プログラムコース※

【入門編】シンガポールレクチャー+生活ルーティーン動画+シンガポール3民族のディスカッション動画を視聴(字幕付き)+Q&A+クイズセッション付

【基礎編】シンガポール人スタッフからのレクチャー+生活ルーティーン動画+生中継で3民族とつながりパネルディスカッション+Q&A+クイズセッション付

1日目導入プログラム (入門編実施)

英語にもっと触れたいということであれば基礎編でも対応可能



オンラインホームビジット

シンガポール人と交流してみよう!



シンガポール 異文化オンライン交流プログラム

◎HDB（公共団地）



1960年代におけるシンガポール国内のスラム街を一掃し、国が建設する安価なマンションに移住させたことで知られ、現在、HDBが供給する公共住宅に入居するシンガポール人の割合は8割を超えています。HDBにはホーカー＆幼稚園＆スーパー＆マーケット＆クリニック等が併設されており、国民のより良い生活を支える環境なのです。



◎多民族が共存する国の在り方



中国系をはじめ、マレー系、インド系など多彩な民族が暮らすシンガポールは、1カ国で様々な民族と文化が共生する社会環境を学ぶ絶好のロケーションです。「お正月」というテーマだけでも各民族のチャイニーズニューイヤー・ディーパバリ・ハリラヤと行事のスタイルが全く異なります。シンガポールを通して「国際理解」について学習してみましょう。



©Singapore Tourism Board

©JTBSingapore支店

©Singapore Tourism Board

SDGs x シンガポール食文化の魅力

日本とは異なる食文化に触れて持続可能な街づくりの取り組みを学んでみよう



シンガポールには、さまざまな好みの食通の食欲を満たす、多種多様な食文化が入り混じってます。一生かかっても食べきれないほどの料理が集まる場所、シンガポール。ミシュランの星を戴く高級レストランから、世界各国の料理、地元出身シェフの絶品料理、時代を超越した屋台の人気料理まで、シンガポールでは、あらゆる味を堪能できるのが特徴です。そんな魅力溢れるシンガポールの食&料理について、在住歴約30年のトップガイド 中村よりオンライン企画として日本の皆様にお届けします。



無形遺産：ホーカーセンター

2020年12月にはシンガポールのホーカー文化(屋台)がユネスコ無形文化遺産に登録。多民族国家の胃袋を支える屋台文化はシンガポールの生活様式や多様な文化を反映しています。年齢や人種に関係なく、すべてのシンガポール人の日常生活に不可欠なものなのです。無形文化遺産の持続可能な開発への貢献が、今後の重要な研究課題としても注目されています。また、マレー系が人口の約13%というシンガポール。ハラル認証を取得しているレストランも街の至る所にあり、シンガポールは非イスラム国では最もハラルフレンドリーな国にランキングされています。宗教を越えて持続可能な多文化共生が実現できる手段の1つに“ハラルフード”があげられます。



ハラル店舗

SDGsの17項目の中では、2(飢餓をゼロに)、11(住み続けられるまちづくりを)に焦点をあて、シンガポールの食文化を通して、食の多様性について考えてみましょう。

- サンプルスケジュール(下記のトピックより30分のミニレクチャーとします)
- (1)イントロダクション:シンガポール料理&食事文化=>スライドを利用してLIVE解説
- (2)無形遺産「シンガポール ホーカー」の魅力=>動画を使いながらのご案内
- (3)シンガポールのハラル文化について =>動画を使いながらのご案内
- 受入人数: プラットフォームによる
- 受入時間: 月-金曜日 10:00~18:00 (日本時間)
* 週末&シンガポール祝日は別途追加料金発生
- 所要時間: 約60-90分程度
- 利用プラットフォーム: Zoom等
- 対象: 中学生以上(一般団体&学生団体共にご案内可能)

担当ガイド:中村浩美

JTBシンガポール支店を代表する日本人トップガイド。大阪出身。分かりやすい説明の中には必ず笑いがありますので、明るく元気なパワフルなガイドとして人気を博しております。



VIPのお客様他、様々なツアーを経験されております。JTBベストガイド賞も過去最多の受賞歴をもっており、社内評価の高さもお分かりいただけるかと思えます。

オンラインでJTBシンガポール支店訪問 ～海外で活躍する日系企業訪問～

Online Lecture by JTB Singapore

JTBシンガポール支店スタッフからの講話を含む企業視察は如何でしょうか



講話内容 (下記テーマ例など、弊社スタッフから講話をすることが可能です)

- 1) シンガポールの国の政策及び、経済事情について
- 2) JTB アジアパシフィックが目指す、グローバルの取り組みについて
- 3) 海外で働くきっかけや、海外で働く苦労話について
- 4) シンガポールにおける異文化について(グローバル人材に必要な要素とは)

手配実績について

修学旅行、専門学校、大学ゼミ旅行、職場旅行、新人中堅社員研修旅行
経済同友会、観光関連の自治体等

- 受入人数: プラットフォームによる(Zoom, Teams等を想定)
- 受入時間: 月-金曜日(祝日除く) 10:00~18:00 (日本時間)
- 所要時間: 約1~1.5時間程度

講師例:
JTBシンガポール支店 団体手配課マネージャー



高須賀 務
日本の大学卒業後、流通系企業に就職。
2年後 2005年にクロアチア ザグレブにてホステルビジネスで起業。
2008年JTBグループ旅行会社のクロアチア支店にて現地入社。
2013年シンガポールへ移住し、現職へ。
自身の海外での起業話や、海外におけるグローバル人材とは、なぜ、今時代はアジアなのか等のテーマで年間30件程度講演を行う。



※スケジュール(例)※

1時間~1.5時間 (お客様のご要望に応じお時間を調整致します)

上記テーマにおける講話 (45分~1時間)

質疑応答 (15分)